

オンラインセミナー
「建設未来フォーラム」
2023年度 報告書

2024年3月

THE DAILY ENGINEERING & CONSTRUCTION NEWS

実施日時：2023年4月20日（木）13：30～14：40

テーマ：国のかたちを考える

プログラム：

第一部：講演「国のかたちを考える」

森昌文氏（内閣総理大臣補佐官）

第二部：講演「デジタル田園都市国家構想の推進による地方創生」

市川篤志氏（内閣官房内閣審議官デジタル田園都市国家構想実現会議事務局次長）

参加者：約380名（申し込み約640名）

主催：日刊建設工業新聞社



デジタル実装タイプ：TYPE1の採択事例②

<p>教育</p> <ul style="list-style-type: none"> オンライン学習、デジタル教材（AIドリル）、遠隔合同授業など、デジタルを活用した、教育環境の充実化の取組 <p>デジタル実装タイプ</p> <p>39団体が導入</p>	<p>文化・スポーツ</p> <ul style="list-style-type: none"> 博物館や図書館のデジタル化や、スポーツ観戦におけるデジタル活用を通じた、文化・スポーツの振興を図る取組 <p>デジタルミュージアム</p> <p>芸術作品や歴史資料のデジタルアーカイブ化やメタバース・VRの活用により、文化財にふれあう機会を創出!</p> <p>19団体が導入</p>
<p>個別最適化学習</p> <p>AI応用のデジタル教材を活用し、児童・生徒の状況に応じた個別最適が実現</p> <p>48団体が導入</p>	<p>アスリート育成プログラム</p> <p>AIカメラドローンを用いて練習・試合を撮影し、選手の動作等を分析することで、フィードバックが向上しサポート</p> <p>4団体が導入</p>



95th 建設未来フォーラム

第1部：国のかたちを考える
講師：森 昌文氏（内閣総理大臣補佐官）

第2部：デジタル田園都市国家構想の推進による地方創生
講師：市川篤志氏
（内閣官房内閣審議官 デジタル田園都市国家構想実現会議 事務局次長）

2023年4月20日
日刊建設工業新聞社

総合戦略の基本的考え方

デジタルの普及や地方移住への関心の高まりなど、社会情勢がこれまでとは大きく変化している中、今こそデジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化し、「全国どこでも暮らしが便利で快適に暮らせる社会」を創出する

● 東京圏への過度な一極集中の是正や多極化を図り、地方に住み働きながら、都会に匹敵する待遇やサービスを利用できるようにすることで、地方の社会課題を成長の原動力とし、地方から全国へとボトムアップの成長につなげていく

● 地方は、地域それぞれが抱える社会課題等を踏まえ、地域の個性や魅力を生かした地域ビジョンを再構築し、地方版総合戦略を改訂し、地域にシヨウ案策に向け、国は政府一丸となって統合的・協力的に支援する観点から、多様な組織間の連携を促すとともに、国発の社会課題を抱える後進の地方公共団体が連携して、効果的かつ効率的に課題解決に取り組むことができるよう、デジタルの力も活用した地域課題の在り方や推進策を提示。（抄）

デジタル田園都市国家構想の実現に向けた新たな主要KPI

2030年度までに全ての地方公共団体がデジタル実装に取り組みことを見直し、デジタル実装に取り組み地方公共団体を、2024年度までに1,000団体、2027年度までに1,500団体とする。

19

実施日時：2023年5月12日（火）14:00～15:15

テーマ：持続可能な建設業に向けた環境整備—ポイントと対応—

プログラム：

講演「持続可能な建設業に向けた環境整備—ポイントと対応—」

楠茂樹上智大学法学部教授（国土交通省持続可能な建設業に向けた環境整備検討会座長）

参加者：約180名（申し込み約280名）

主催：日刊建設工業新聞社



講演の狙い

- ・国土交通省（不動産・建設経済局）に設けられた「持続可能な建設業に向けた環境整備検討会」報告書について
- ・検討会開催の背景事情
- ・報告書のポイント、今後の対応についての情報を共有すること。

*この講演において示される意見や展望については、(断りがない限り)講演者個人のものであって、国土交通省、あるいは「持続可能な建設業に向けた環境整備検討会」のものではない。
*以下「検討会」、「報告書」といった略記をすることがある。

95th ANNIVERSARY

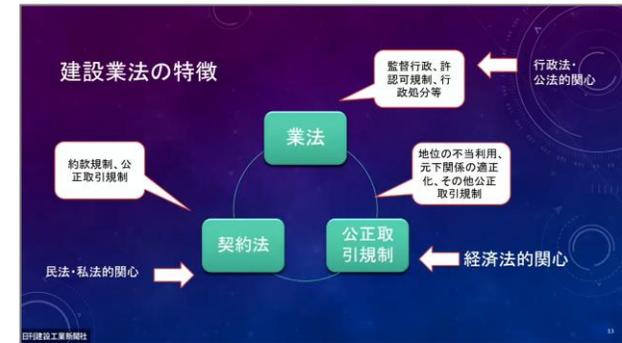
建設未来フォーラム

持続可能な建設業に向けた環境整備—ポイントと対応—

講師：楠茂樹上智大学法学部教授
（国土交通省持続可能な建設業に向けた環境整備検討会座長）

2023年5月12日

日刊建設工業新聞社 白丸建設工業新聞社



実施日時：2023年5月23日（火）13:30～14:30

テーマ：観光の現状と今後の取り組み

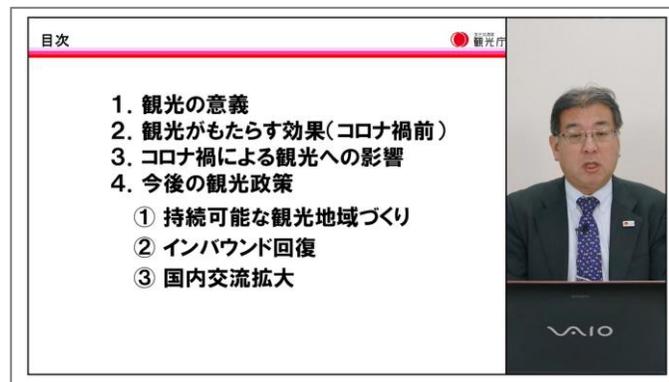
プログラム：

講演「観光の現状と今後の取組」

中村広樹氏（観光庁観光地域振興部長）

参加者：約100名（申し込み約140名）

主催：日刊建設工業新聞社

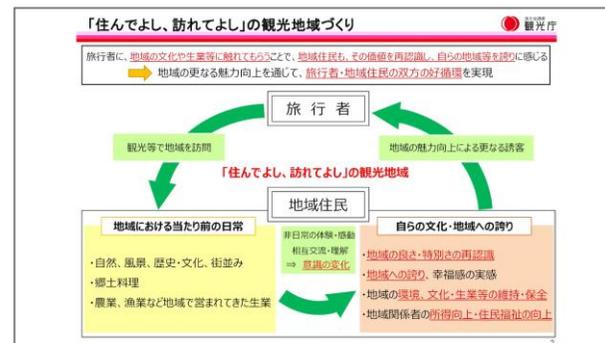


95th 建設未来フォーラム

観光の現状と今後の取り組み

講師：中村広樹氏(国土交通省観光庁観光地域振興部長)

2023年5月23日
日刊建設工業新聞社



実施日時：2023年6月20日（火）13:30～14:30

テーマ：建設業界における2024年問題 —現状と課題—

プログラム：

基調講演「建設業における働き方改革の今後の展開について」

鈴木英二郎氏（厚生労働省労働基準局長）

協賛社プレゼンテーション「free勤怠管理ソリューションについて」

和田矩明氏（free HR 事業部責任者）

参加者：約310名（申し込み約440名）

主催：日刊建設工業新聞社

協賛：free



第14次労働災害防止計画
業種別の労働災害防止対策の推進（建設業）

建設事業者に取り組んでもらいたいこと

- ・墜落・転落のおそれのある箇所への囲い、手すり等の設置、フルハーネス型墜落制止器具の確実な使用
- ・はしご・脚立等の安全な使用の徹底等の実施
- ・墜落・転落災害防止に関するリスクアセスメントの実施
- ・作業場所の暑さ指数を測定し、屋根、休憩場所、通風・冷房設備を設置

free

働き方改革への具体的な対応策について

実施日時：2023年7月11日（火）13:30～14:40

テーマ：進化する建設DX～生産性向上とAI 最新の音声認識と画像認識の活用事例

プログラム：

基調講演「建設業における働き方改革の今後の展開について」

森下博之氏（国土交通省大臣官房参事官（イノベーション））

協賛社プレゼンテーション「現場の業務効率を飛躍的に向上させるAI技術」

立松克己氏（アドバンスト・メディア常務取締役経営推進本部長兼BDC本部長）

参加者：約430名（申し込み約570名）

主催：日刊建設工業新聞社

協賛：アドバンスト・メディア



本日のまとめ

国土交通省

国民の安全・安心を確保し、くらしや経済を支えるため、インフラの機能を、将来にわたって継続的に維持・向上することが必要

↓

デジタル技術とデータの方で、インフラを変え、国土を変え、社会を変えよう！

建設産業を若手や女性など関係なく、全ての人が活躍でき、最新技術を導入した「かっこいい」魅力ある仕事に！

国土交通省では、令和5年をDXによる変革を加速する「**躍進の年**」として位置付けています。

検査箇所一覧	
E1	X2 Y1
E1	X2 Y2
E3	X2 Y1
C1	X1 Y1
C2	X2 Y1
C3	X3 Y1
C4	X1 Y3
C5	X2 Y3
C6	X3 Y3
CG1	X2 Y1
CG1	X3 Y1
CG...	X1 Y2
CG...	X3 Y1

実施日時：2023年7月25日（火）13:30～15:30

テーマ：一気通貫で生産性向上を目指す～建設業界における営業DXの実践例と成功事例～

プログラム：

■ 第一部 基調講演「不動産建設データ活用推進協会の取り組みについて」

講師：青木由行氏（不動産適正取引推進機構理事長、不動産建設データ活用推進協会顧問）

■ 第二部 セールスフォース・ジャパン「営業DXによる一気通貫プロセス改革：建設業界での生産性向上の鍵」

講師：國本久成氏（セールスフォース・ジャパン インダストリーズトランスフォーメーション事業本部 コンシューマービジネスサービス ディレクター）

講師：万木孝幸氏（同 ソリューション・エンジニアリング統括本部 B2Cソリューション本部 プロフェッショナルサービス・TTH部シニアソリューションエンジニア）

■ 第三部 「生産性向上のためのDX：西松建設のデジタルトランスフォーメーション」

講師：井上貴文氏（西松建設 常務執行役員建築事業本部副本部長）、成田和俊氏（西松建設 執行役員建築事業本部副本部長）／聞き手：渡部克之氏（セールスフォース・ジャパン 執行役員）

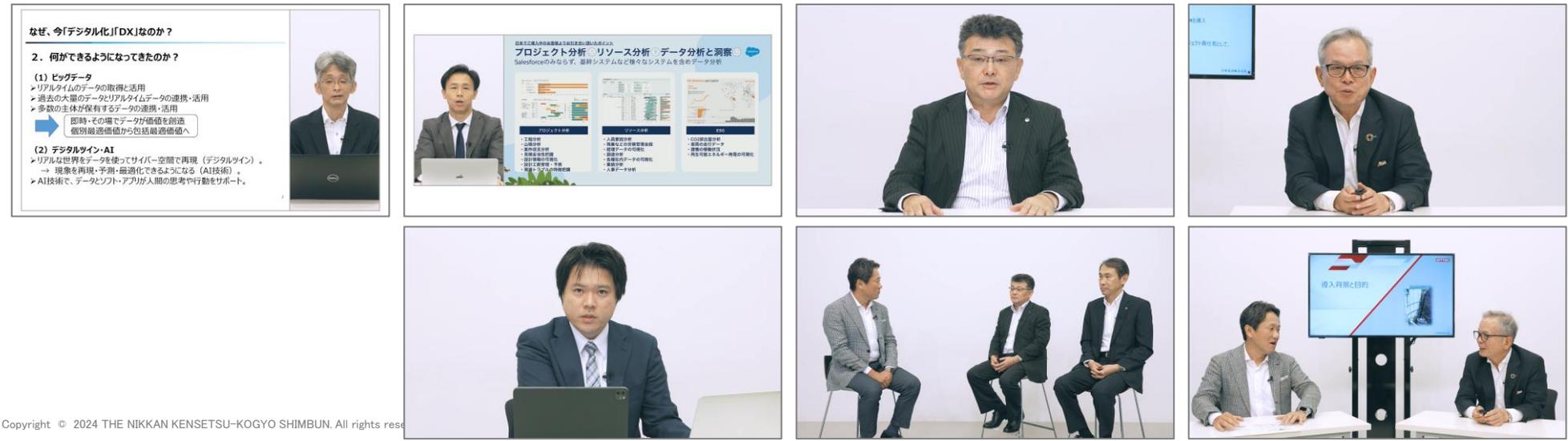
■ 第四部 「中期経営計画の実現に向けた、営業と技術の情報統合への挑戦」

講師：菅浩一氏（日特建設常務執行役員技術開発本部長）／聞き手：渡部克之氏

参加者：約520名（申し込み約750名）

主催：日刊建設工業新聞社

協賛：セールスフォース・ジャパン



第21回建設未来フォーラム

実施日時：2023年9月4日（月）14:00～15:45

テーマ：大林組・長谷工が語る！建設業界における攻めと守りのDX

プログラム：

■第一部 基調講演「建設業における『2024年問題』最新動向」

講師：日刊建設工業新聞社編集局部長 牧野洋久

■第二部 大林組が語る！建設業界の経理DXとこれからの経理業務の在り方

講師：高田佳明氏（大林組経理部長）、今井良祐氏（経理部副課長）

■第三部 外勤・内勤の全社員に共通する業務のデジタル化－間接業務から始める全社DX－

講師：越智佑馬氏（コンカー コマーシャル営業本部ゼネラルビジネス第二営業部部長）

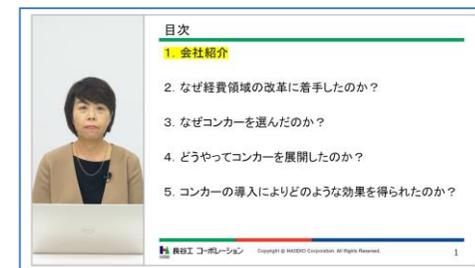
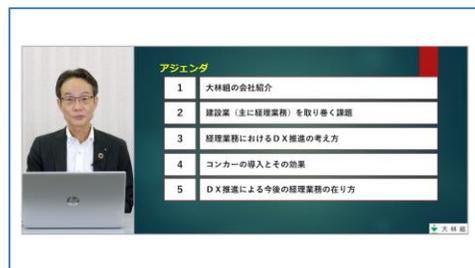
■第四部 長谷工グループ-間接費業務改革への取り組み

講師：遠藤妙子氏（長谷工コーポレーション経理部担当部長）

参加者：約400名（申し込み約560名）

主催：日刊建設工業新聞社

協賛：コンカー



実施日時：2023年9月27日（水）13:30～14:30

テーマ：建設産業界に求められる新卒採用戦略—Z世代の就職活動と働き方—

プログラム：

講演「持続可能な建設業に向けた環境整備—ポイントと対応—」

長嶋哲夫（株式会社キャリア・ナビゲーション代表取締役）

参加者：約110名（申し込み約170名）

主催：日刊建設工業新聞社



建築土木人材の市況について

事例 学生と企業の交流会で、建設業の魅力についてプレストを実施

【インサイト】

- ① 学生側は「3K」という言葉を認知していない
- ② 企業側が思う建設業への魅力は学生側へも共通

建築土木採用におけるベストプラクティス

説明会参加: 100名

選考応募: 50名

内定: 20-30名

採用: 10名

全体計画の策定

採用予定数から逆算して必要な接点数を計算する

採用人数から逆算する

1. 10名採用（入社）の場合
2. → 25～30名の内定（合格）者が必要
3. → 50名選考応募者が必要
4. → 100名の自社説明会参加者が必要

Z世代建築土木学生の動向

Z世代のキーワード

- 1 居心地の良さ
- 2 同調志向
- 3 自己承認欲求

建築土木の採用現場でも、各学生への寄り添い、「共感」が求められている。

学生は自分からは前に出てこない。居心地が良い人と思った人・企業には秘めた自分自身を話してくれる傾向がある。

実施日時：2023年10月5日（木） 13:30～14:30

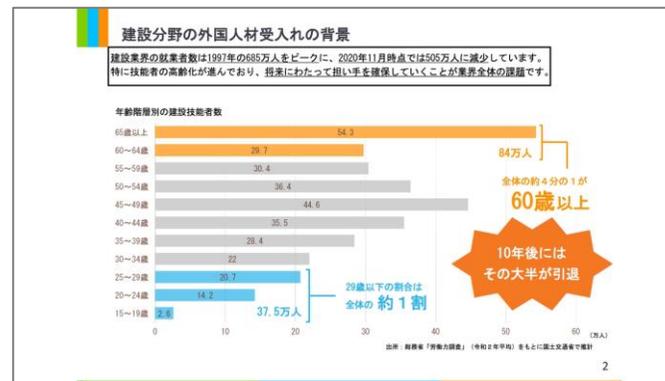
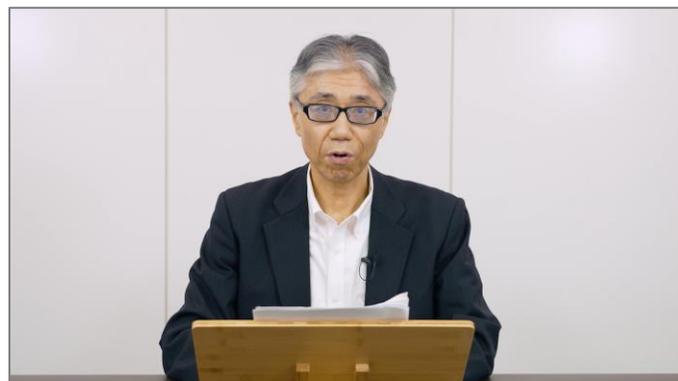
テーマ：優秀な外国人の受入れ増のためには、中長期的なキャリアパス構築がポイント
プログラム：

講演「優秀な外国人の受入れ増のためには、中長期的なキャリアパス構築がポイント」

山本博之氏（建設技能人材機構専務理事）

参加者：約200名（申し込み約250名）

主催：日刊建設工業新聞社

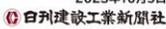



建設未来フォーラム

優秀な外国人の受入れ増のためには、
中長期的なキャリアパス構築がポイント

講師：山本博之氏（一般社団法人建設技能人材機構 専務理事）

2023年10月5日






特定技能外国人制度について

～優秀な外国人の受入れ増のためには、中長期的なキャリアパス構築がポイント～

一般社団法人 建設技能人材機構（JAC）
専務理事 山本博之

Japan Association for Construction Human Resources

第24回建設未来フォーラム

実施日時：2023年11月29日（水）13:30～15:30

テーマ：バックオフィスと現場。両方のDXが建設産業の生産性問題を解決するプログラム：

■第一部：基調講演「建設産業の未来のために必要なもの」

講師：蟹澤宏剛氏（芝浦工業大学建築学部建築学科教授）

■第二部：講演「労働時間を短縮し生産性を向上するバックオフィスのDXとは？～業務のボトルネックを明らかにするBMPS～」

講師：島崎俊氏（日鉄ソリューションズ デジタルテクノロジー&ソリューション事業部エキスパート）

■第三部：講演「建設設備工事の発注・検収におけるCONTRACTHUB活用事例」

イントロダクション：田中慎一郎氏（日鉄ソリューションズ デジタルテクノロジー&ソリューション事業部）

講師：小島麻美氏（高砂熱学工業 技術部主任）、加納竜輔氏（高砂熱学工業 東京本店管理部業務1課主任）

参加者：約200名（申し込み約250名）

主催：日刊建設工業新聞社

協賛：日鉄ソリューションズ



第25回建設未来フォーラム

実施日時：2023年12月6日（水）13:30～15:15

テーマ：2024年、建設DXの次なるステージを占う ～建設業におけるデータ・映像活用の最前線

プログラム：

■第一部：講演「都市デジタルツイン実装プロジェクト PLATEAU-3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化」

講師：鈴木豪氏（国土交通省都市局都市政策課デジタル情報活用推進室 企画専門官・内閣府地方創生推進室 都市可視化調整官）

■第二部：プレゼンテーション「映像データ活用がもたらす、建設DXの可能性」

講師：桜田忠弥氏（セーフィー 営業本部副本部長）

■第三部：トークセッション「鹿島建設におけるデジタル推進の取り組み ～建設をより魅力的な仕事に～」

出演：國近 京輔 氏（鹿島建設 デジタル推進室次長）、桜田氏

モデレーター：横川貢雄（日刊建設工業新聞社取締役編集・出版担当）

参加者：約260名（申し込み約360名）

主催：日刊建設工業新聞社

協賛：セーフィー



実施日時：2024年2月21日（水）13:30～14:40

テーマ：建設DXの更なる進化に向けて ～最新の共同業務管理ソリューション

プログラム：

基調講演「DX時代の新たなマネジメント」

野田勝氏（一般財団法人日本建設情報総合センター理事）

協賛社プレゼンテーション「共同業務管理プラットフォーム活用による社内外との業務・工程管理とコラボレーション」

塚田 哲氏（Smartsheet Japan ストラテジックアカウントエグゼクティブ）

参加者：約180名（申し込み約280名）

主催：日刊建設工業新聞社

協賛：SmartSheet Japan



本日のポイント

- 建設DXに取組もう
生産性向上
働き方改革
多様な人材の活用
- BIM/CIMに取組もう



Smartsheetの概要

Smartsheetのミッション：
Change the way world works

設立年：2005年

本社所在地：ワシントン州ベルビュー

FY23売上：\$767M (約1,000億円)

Fortune 100の90%+、Fortune 500の80%+が採用

NY株式市場に2018年の上場 シンボル：SMAR

社員数：3,000+



実施日時：2024年2月27日（火）13：30～15：10

テーマ：今こそ考える、建設産業の財務・契約

プログラム：

■ 第一部 講演「建設業財務のいろはと今後の動向」

講師：小西 亮平（辻・本郷 税理士法人 郡山事務所・チーフコンサルタント兼建設業カンパニー長）

■ 第二部 講演「建設業界で流行する不動産ファンドの仕組み」

講師：佐伯 優仁（森・濱田松本法律事務所 パートナー弁護士）

■ 第三部 講演「契約電子化の最後の難関～建設工事請負契約～」

講師：小倉 隆志（リーテックス株式会社 代表取締役）

参加者：約65名（申し込み約100名）

主催：日刊建設工業新聞社



建設業における財務分析指標

分野	分析指標	算出式	値
負債抵抗力	純支払利息率	(支払利息-受取利息配当金) ÷ 売上高 × 100	↓
	負債回転期間	(売動負債+固定負債) ÷ (売上高 × 12)	↓
収益性	総資本売上総利益率	売上総利益 ÷ 総資本 × 100	↑
	売上高経常利益率	経常利益 ÷ 売上高 × 100	↑
健全性	自己資本対固定資産比率	自己資本 ÷ 固定資産 × 100	↑
	自己資本比率	自己資本 ÷ 総資本 × 100	↑
絶対的力量	営業キャッシュフロー	営業キャッシュフロー ÷ 1億円 (2期平均)	↑
	利益剰余金	利益剰余金 ÷ 1億円	↑

※値についてはそれぞれ高い方・低い方が有利を示している

近時の動向

- 不動産ファンド組成事例の増加**
 - 少子高齢化等の社会状況の変化や、近年のコロナ影響を経て、本業以外にファイナンス（定期的・一定額のフォー（報酬）を享受するビジネス）を営観する傾向
 - 従来のペーパーや不動産会社が主として行っていた不動産ファンド組成ビジネスに、他業種の会社が加勢参入している（例：建設会社、鉄道会社、金融機関）
- 不動産ファンド組成事例の多様化**
 - 元来、私募ファンドと上場REITが多く見られ、近年は私設REITの組成が急増
 - さらに直近では、LPS（OEPI）ファンド、不動産特定共同事業、不動産STOといった新種の事例も見られる
- 建設会社の事例**
 - 私設REITを組成し、グループ会社で運用する事例（近時の主要例）
 - 私設REITの資産運用会社の株主として出資する事例
 - REIT以外の不動産流動化・ファンド組成を行う事例

ペーパーレス化で印紙税ゼロ

電子契約は「電子ファイルによる契約のやり取り」という見解が通っており、電子契約に置き換えた際、印紙税や郵送料の削減が可能となり、リモートワークとの相性も極めて高い

0円

印紙税・全額によって印紙代だけで、電子契約導入した利用より削減費用が上回る見込みあり
郵送料・印紙代・事務員の手間・事務コストなど、電子契約のメリットは非常に多岐にわたる

■ 第1回 「“持続可能な建設業”のためのSDGs実践を考える」

実施日時：2023年9月20日（水）15：30～17：30（約120分）

参加者：約20名（申し込み約40名）

■ 第2回 「“持続可能な建設業”のための“社内浸透”を考える」

実施日時：10月23日（月）15：30～17：30（約120分）

参加者：約20名（申し込み約40名）

■ 第3回 12月12日（火）「未来の建設業を担う“サステナビリティ人材”」

実施日時：12月12日（火）15：30～17：30（約120分） 終了後、懇親会を開催

参加者：約20名（申し込み約50名）

会場：すべて浜離宮建設プラザ大会議室（東京都中央区築地5-5-12）

プログラム：

■ 協賛社挨拶

■ セミナーとグループディスカッション

講師：中川優氏（日本能率協会主任講師、2030SDGs 公認ファシリテーター）

主催：日刊建設工業新聞社 協賛：リバスタ Lis B



創刊 95th

日刊建設工業新聞社